

後期研修プログラム概要

専門的な診療と手術のできる眼科外科医の育成を主眼に研修を行っている。臨床と研究どちらを重視したいかにより以下の2つのコースが選択できる。

A. 臨床重視コース

研修目標

4年間の研修で眼科専門医の受験資格を取得するだけでなく、眼科外科医としてより高度な手術の技能を身につける。

研修計画

●研修1年目前半

外来では指導医とともに初診患者さんの診療にあたり、眼科一般診療の基本的な手技を身につける。造影検査、視野検査、電気生理学的検査やレーザー網膜断層撮影などの読影を学ぶ。

手術には助手としてはいり手技を学ぶと同時に、豚眼を用いたウェットラボや手術のシュミレーターで実際に顕微鏡下の手術操作になれる。

病棟業務を通して、術前後の患者さんの管理や処置について学ぶ。

●研修1年目後半

網膜光凝固術を行えるようにする。

指導医のもと翼状片や眼瞼内反症の手術の執刀を行う。

●研修2年目

経験した症例を学会・論文発表する。

水晶体超音波乳化吸引術+眼内レンズ挿入術を習得する。

関連病院で短期的に研修し、外来診療の経験を積む。

●研修3年目

手術前後の検査やフォローを習得したうえで緑内障手術、斜視手術の執刀を行えるようにする。

関連病院で診療・手術の経験を積む。眼科手術100例以上の執刀を行う。

●研修4年目

網膜復位術（強膜内凹術）の執刀を行う。

より専門性の高い角膜移植あるいは網膜硝子体手術の検査、手術前後のフォローに習熟し、指導医のもと執刀できるようにする。

B. 研究重視・大学院コース

研修目標

4年間の研修で眼科専門医の受験資格取得を目指すと同時に、医学博士の取得にむけ眼科研究を行う。

●研修1、2年目

臨床重視コースと同様に眼科の基本的診療、検査、手術手技を習得します。

指導医の研究につき、基本的実験手技や研究の進め方を学ぶ。

●研修3、4年目

自分のテーマの研究をすすめ、論文の作成を行います。具体的には網膜血流研究、角膜・網膜の再生医療の研究などがテーマとなる。希望があれば共同研究をしているハーバード大学の研究所に留学し研究を行う。

連絡先／石 子 智 士 眼科学講座准教授
電 話 0166(65)2111 内線2543
E-mail ishiko@asahikawa-med.ac.jp